

長寿医療研究開発費 平成 24 年度 総括研究報告書

生活自立を指標とした、生活習慣病の検査値の基準値設定に関する研究

主任研究者 大内 尉義 国立長寿医療研究センター (特任学術研究員)

研究要旨

認知症発症や認知機能低下と各種生活習慣病、老年疾患の関連を明らかにするために、文献データベースに基づくエビデンスの収集を行うことを目的とし、システマティックレビューを行った。また、これらの疾患と、認知症発症、認知機能低下に関する知見を裏付けるための基礎的研究、臨床的研究も並行しておこなった。システマティックレビューに関しては、Medline、Cochrane data base、医学中央雑誌を用いた検索に加え、ハンドサーチを利用することにより、網羅的な検索をおこない、構造化抄録を作成する。今後さらに、ADL をアウトカムとしたシステマティックレビューに関しても同様の作業をおこなう予定である。

主任研究者

大内 尉義 国立長寿医療研究センター (特任学術研究員)

分担研究者

鳥羽 研二 国立長寿医療研究センター 病院 (病院長)
鈴木 隆雄 国立長寿医療研究センター 研究所 (研究所長)
下方 浩史 国立長寿医療研究センター 研究所 (部長)
細井 孝之 国立長寿医療研究センター 病院 (部長)
徳田 治彦 国立長寿医療研究センター 病院 (部長)
清水 敦哉 国立長寿医療研究センター 病院 (医長)
福岡 秀記 国立長寿医療研究センター 病院 (医長)
杉浦 彩子 国立長寿医療研究センター 病院 (医師)
井藤 英喜 日本老年医学会 (理事、高齢者EBM委員会委員長)
江頭 正人 日本老年医学会 (代議員)
三木 哲郎 日本老年医学会 (理事)
秋下 雅弘 日本老年医学会 (代議員)
楽木 宏実 日本老年医学会 (理事)
葛谷 雅文 日本老年医学会 (理事)
荒井 秀典 日本老年医学会 (代議員)
下澤 達雄 日本老年医学会 (代議員)

山口 泰弘 日本老年医学会（代議員）
羽生 春夫 日本老年医学会（代議員）
島本 和明 日本老年医学会（理事）
清原 裕 日本老年医学会（代議員）
宮野伊知郎 日本老年医学会（代議員）
羽村 章 日本歯科大学（教授）
本間 之夫 東京大学（教授）
川口 浩 東京大学（准教授）
岡村 智教 慶應義塾大学（教授）

研究協力者

田村 嘉章 東京都健康長寿医療センター（糖尿病・代謝・内分泌内科医長）
荒木 厚 東京都健康長寿医療センター（内科総括部長）
小原 克彦 愛媛大学大学院（准教授）
斎藤 重幸 札幌医科大学保健医療学部（教授）
吉田 大悟 九州大学大学院医学研究院環境医学分野（学術研究員）
鈴木 基文 東京大学大学院医学系研究科（講師）
吉村 典子 東京大学医学部附属 22 世紀医療センター（特任准教授）
阿久根 徹 東京大学医学部附属 22 世紀医療センター（特任准教授）
村木 重之 東京大学医学部附属 22 世紀医療センター（特任准教授）
早川 岳人 福島県立医科大学（准教授）

A. 研究目的

長寿社会において、心身の自立を促進し、健康寿命を延伸することは最重要課題の一つであり、国立長寿医療研究センターの理念でもある。数十年前の医療では、臓器障害後に日常生活機能が低下して死亡するまでの期間は現在よりはるかに短く、このため生活習慣病の多くの研究が、臓器障害（イベント）や、死亡（生命予後）をエンドポイントとして研究された。また各学会主導で発刊されているガイドラインでは、認知症の低下や日常生活機能を最終評価項目とした研究の総括は触れられていない。

近年我が国は超高齢社会に突入し、疾患が顕著でなくても、軽微な生活自立依存となっている高齢者が増加し、疾患のストレスが最大の要因として、虚弱から依存に至ることが最近の研究で判明している。また、脳卒中の急性期医療、心臓インターベンション医療、骨折後リハビリテーション医療など、近年の医学の進歩によって臓器機能障害が直ちに生活機能低下に結びつきにくくなっている。

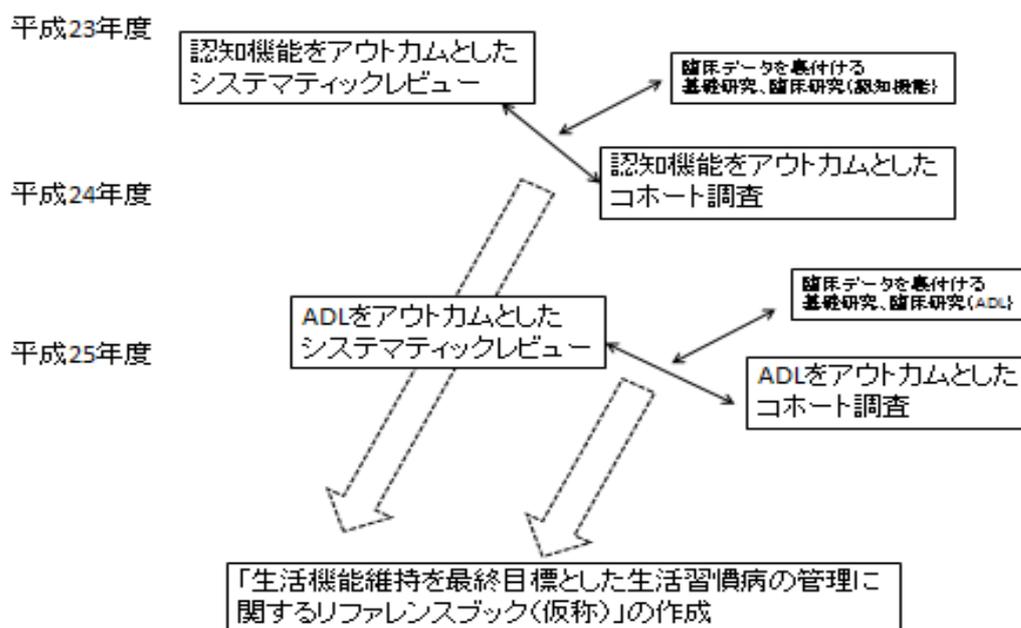
一方内外の大規模研究では、生活習慣病・老年疾患の治療に関して、ADLや認知機能を従属変数としたサブ解析も増加している。各学会などの専門領域では、これら

に呼応したコホート研究も増加していると思われるが、全容は明らかではない。

このような趨勢において、生活習慣病・老年疾患の主要な検査や所見の指標の異常が、将来の生活機能の低下を推し量りうるのか、もしそうならば、どの程度の異常値が意味を有するのかといった、「生活機能予後」をターゲットとして、健康診断の結果に対し将来の自立機能への安心や警鐘となる意味を付加するならば、健康増進事業の価値も一層高めることになるだろう。

本研究は、生活自立を指標とした、生活習慣病・老年疾患の検査値の最適な範囲の設定を模索することを目的としている。具体的には、1. 各種生活習慣病・老年疾患と認知機能低下やADL低下との関連について、文献的にシステマティックレビューをおこなうこと 2. 日本でおこなわれているいくつかの代表的なコホート研究におけるデータベースをもちいて、各種生活習慣病・老年疾患と認知機能低下やADL低下との関連について検討すること 3. 各種生活習慣病・老年疾患における認知機能低下ならびにADL低下のメカニズムにつき基礎的、臨床的検討をおこなうことである(図1)。

図1



H24年度については、認知症や認知機能をアウトカムとした各種生活習慣病・老年疾患関連指標の意義を明らかにするために、文献データベースに基づくエビデンスの収集を行いシステマティックレビューをおこなうこと、またその結果を裏付けるための基礎的、臨床的検討をすすめることを目的とした。認知症や認知機能をアウトカムとしたシステマティックレビューに関して、一次選択をおこなった論文に関し精読をおこないエ

ビデンスレベルの高いものに関して二次選択をおこなった。さらに、それらに対する構造化抄録を作成した。

なお、各種疾患と認知機能低下、ADL低下に関する知見を裏付けるためのコホート研究、基礎的研究、臨床的研究としては下記の項目について行った。

- 慢性腎臓病モデルにおけるmicroRNAの変化(分担研究者：下澤)
- COPD と認知機能に関する基礎的並びに臨床的検討(分担研究者：山口)
- 一般住民集団男性における膝痛、腰痛とQOLとの関連(分担研究者：川口)
- 施設型長期縦断疫学研究からの検討 (分担研究者：下方)
- 高齢者糖尿病診療の実態、血管障害および認知症のリスク (分担研究者：井藤)
- 糖尿病性認知症における炎症性マーカーに関する研究 (分担研究者：羽生)
- 抗加齢ドッグにおけるサルコペニアと認知機能との関連 (分担研究者：三木)
- 地域における日常生活動作障害の実態：久山町研究 (分担研究者：清原)
- コホート調査 (香北町研究) における認知機能低下の要因 (分担研究者：宮野)
- NIPPON DATA90からみた日常生活動作の推移 (分担研究者：岡村)
- 地域における軽症認知症の頻度と背景に関する疫学研究 (分担研究者：島本)

本研究の成績は、中高年の健康指標として、大きな財産になるだけでなく、医療における薬物療法や、生活習慣改善などの非薬物療法の目標設定に役立ち、国民福祉への貢献は多大であると考える。

B. 研究方法

生活習慣病・老年疾患と認知機能低下に関するシステマティックレビュー

1. 対象文献

原則として1972年から2011年に出版された英語および日本語文献。ヒットする文献数が多すぎる場合は、期間を最近のものにしぼった。

2. 対象疾患

- #1 骨粗鬆症
- #2 心房細動、心不全
- #3 白内障、視力障害
- #4 難聴
- #5 肥満、糖尿病
- #6 サルコペニア
- #7 高血圧
- #8 低栄養
- #9 脂質異常症、動脈硬化
- #10 慢性腎臓病

#11 COPD

#12 歯・口腔疾患、摂食・嚥下障害

#13 排尿障害

#14 変形性関節症

を対象疾患とした。

3. 文献検索

①Research Question の設定

上記疾患に関して、各疾患特異的な指標を“exposure”とし、認知症および認知機能を“outcome”とした Research Question を設定した。

②Key words の選択

各疾患関連の key words としては疾患名に加えて臨床検査項目などを選定した。認知症および認知機能についての key words はすべての疾患に共通のものとした。

③検索

Key words に基づいて検索式を作成し、文献検索を行った。データベースは Medline、Cochrane data base、医学中央雑誌とした。

4. 文献の二次選択

上記で検索された文献のサマリー等を参考に、構造化抄録の作成に値する文献を選択した。

5. 構造化抄録の作成

二次選択された文献を詳読し、構造化抄録を作成した。

(倫理面への配慮)

内外の学術論文を集積した上で、論文の内容と水準を吟味して上記目的に合致する成績を集約する作業は、特に倫理的問題はない。臨床疫学研究に関しては、指針を遵守するとともに参加者には書面による同意書を取得し、参加への任意性、不参加でのいっさいの不利益を被らないこと、参加撤回の自由など十分な説明と同意を行う。基礎的な研究(生化学的実験および動物実験を含む)にあたっては各施設の指針を遵守する。

C. 研究結果

各生活習慣病、老年疾患領域で文献を一次選択し、その後、論文を精読したうえで、二次選択をおこない、構造化抄録を作成した。

リサーチクエスチョン(RQ)としては、各疾患ごとに原則として下記の4つを設定した。

RQ1 各種疾患が認知症の危険因子となるか

RQ2 疾患マーカーに関して認知症発症の基準値を設定しうるか

RQ3 疾患の治療により認知症発症を予防しうるか

RG4 認知症予防のための疾患マーカーの治療目標値を設定しうるか
上記の RQ に従い、構造化抄録を作成した

D. 考察と結論

今回の検討により、各種の生活習慣病、老年疾患と認知機能低下との関連が示唆されたが、基準値を設定するに十分な研究は不足していることがあきらかになった。また、各種の生活習慣病、老年疾患の治療介入が認知機能低下を予防しうるかどうかに関する臨床試験はきわめて少なく十分なエビデンスが不足していることが明らかになった。今後これらの点をあきらかにするための高齢者を対象とした大規模な観察研究、介入試験が望まれる。

E. 健康危険情報

なし

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Akishita M, Ishii S, Kojima T, Kozaki K, Kuzuya M, Arai H, Arai H, Eto M, Takahashi R, Endo H, Horie S, Ezawa K, Kawai S, Takehisa Y, Mikami H, Takegawa S, Morita A, Kamata M, Ouchi Y, Toba K. ; Priorities of Health Care Outcomes for the Elderly. J Am Med Dir Assoc. 2013(in press)
- 2) Kojima T, Akishita M, Kameyama Y, Yamaguchi K, Yamamoto H, Eto M, Ouchi Y. High risk of adverse drug reactions in elderly patients taking six or more drugs: analysis of inpatient database.. Geriatr Gerontol Int 2012 Oct;12(4):761-2.
- 3) Yamada Y, Eto M, Yamamoto H, Akishita M, Ouchi Y. Gastrointestinal hemorrhage and antithrombotic drug use in geriatric patients. Geriatr Gerontol Int Oct;12(4):751-2.
- 4) Hibi S, Yamaguchi Y, Umeda-Kameyama Y, Yamamoto H, Iijima K, Momose T, Akishita M, Ouchi Y. The high frequency of periodic limb movements in patients with Lewy body dementia. J Psychiatr Res. 2012 Dec;46(12):1590-4..
- 5) Kojima T, Akishita M, Kameyama Y, Yamaguchi K, Yamamoto H, Eto M, Ouchi Y. Factors associated with prolonged hospital stay in a geriatric ward of a university hospital in Japan. J Am Geriatr Soc. 2012 Jun;60(6):1190-1.
- 6) Atsuya Shimizu, Yutaka Arahata, Takashi Kato, Kenji Mori, Motohiro Miyagi,

- Kenichiro Nomoto, Manabu Kokubo, Mutsuharu Hayashi, Takashi Sakurai, Hideyuki Hattori, Yasuya Inden, Masahiro Akishita, Kenji Toba, Toyooki Murohara: Subclinical cardiac dysfunction causes a chronic reduction of cerebral blood flow in elderly patients; cardiac function may be a key role in cerebral blood flow autoregulation (原著論文・投稿中)
- 7) 清水敦哉 ; 高齢者心不全と認知機能:Geriatric Medicine 老年医学 (特集: 高齢者の心不全) 2012;50(1) ; ライフサイエンス
 - 8) 清水敦哉、新畑豊 ; 生活習慣と脳血管障害 長寿医療財団報告書 2012
 - 9) Hino T, Sotozono C, Inatomi T, Fukuoka H, Nakamura T, Nagata M, Koizumi N, Morio K, Yokoi N, Kinoshita S. Indications and surgical outcomes of amniotic membrane transplantation. *Nippon Ganka Gakkai Zasshi* Apr;116(4):374-8, 2012
 - 10) Nishio N, Teranishi M, Uchida Y, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Sone M, Otake H, Kato K, Yoshida T, Tagaya M, Hibi T, Nakashima T. Polymorphisms in genes encoding aquaporins 4 and 5 and estrogen receptor α in patients with Meniere's disease and sudden sensorineural hearing loss. *Life Sciences*, in press, 2013.
 - 11) Hiramatsu M, Teranishi M, Uchida Y, Nishio N, Suzuki H, Kato K, Otake H, Yoshida T, Tagaya M, Suzuki H, Sone M, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Nakashima T. Polymorphisms in genes involved in inflammatory pathways in patients with sudden sensorineural hearing loss. *J Neurogenet* 26, 387-396, 2012.
 - 12) Nishio N, Teranishi M, Uchida Y, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Sone M, Otake H, Kato K, Yoshida T, Tagaya M, Hibi T, Nakashima T: Contribution of Complement factor H Y402H polymorphism to sudden sensorineural hearing loss risk and possible interaction with diabetes. *Gene* 499, 226-230, 2012.
 - 13) Teranishi M, Uchida Y, Nishio N, Kato K, Otake H, Yoshida T, Suzuki H, Sone M, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Nakashima T. Polymorphisms in genes involved in oxidative stress response in patients with sudden sensorineural hearing loss and Meniere's disease in a Japanese population. *DNA Cell Biol* 31, 1555-1562, 2012.
 - 14) 杉浦彩子、内田育恵、中島務、安藤富士子、下方浩史. 高齢者の耳垢の頻度と認知機能、聴力との関連. *日老医* 49, 325-329, 2012.
 - 15) 内田育恵、杉浦彩子、中島務、安藤富士子、下方浩史. 全国高齢難聴者数推計と10年後の年齢別難聴発症率-老化に関する長期縦断疫学研究 (NILS-LSA) より. *日老医* 49, 222-227, 2012.

- 16) 内田育恵、杉浦彩子、岸本真由子、植田広海、寺西正明、中島務. 中高年糖尿病教育入院患者における糖尿病関連要因の聴力への影響. *Audiol Jpn* 55, 182-189, 2012.
- 17) 内田育恵、杉浦彩子、植田広海、中島務. 中耳機能 10 年間の推移—老化に関する長期縦断疫学研究より. *Otol Jpn* 22(3), 223-230, 2012.
- 18) 内田育恵、杉浦彩子. 初めて補聴器を患者さんに適合する場合について・Q7 80-100 歳代での場合は? *Entoni* 144, 38-42, 2012. (総説)
- 19) 杉浦彩子. 内耳障害と転倒. 「転倒予防ガイドライン」鳥羽研二編
メディカルビュー社 p58-63, 2012. (書籍)
- 20) Atsushi Araki, Satoshi Iimuro, Takashi Sakurai, Hiroyuki Umegaki, Katsuya Iijima, Hiroshi Nakano, Kenzo Oba, Koichi Yokono, Hirohito Sone, Nobuhiro Yamada, Junya Ako, Kouichi Kozaki, Hisayuki Miura, Atsunori Kashiwagi, Ryuichi Kikkawa, Yukio Yoshimura, Tadasumi Nakano, Yasuo Ohashi, Hideki Ito, and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group: Long-term multiple risk factor interventions in Japanese elderly people with diabetes mellitus: The Japanese Elderly Intervention Trial (J-EDIT): study design, baseline characteristics, and effects of intervention. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 7-17, 2012
- 21) Atsushi Araki, Satoshi Iimuro, Takashi Sakurai, Hiroyuki Umegaki, Katsuya Iijima, Hiroshi Nakano, Kenzo Oba, Koichi Yokono, Hirohito Sone, Nobuhiro Yamada, Junya Ako, Kouichi Kozaki, Hisayuki Miura, Atsunori Kashiwagi, Ryuichi Kikkawa, Yukio Yoshimura, Tadasumi Nakano, Yasuo Ohashi, Hideki Ito, and the Japanese Elderly Intervention Trial Research Group: Non-HDL cholesterol is an important predictor for stroke and diabetes-related mortality in elderly patients with type 2 diabetes: a landmark analysis of the J-EDIT Study. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 18-28, 2012
- 22) Yukio Yoshimura, Chiemi Kamada, Keiko Takahashi, Tae Kaimoto, Satoshi Iimuro, Yasuo, Ohashi, Atushi Araki, Hiroyuki Umegaki, Takashi Sakurai, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group: Relations of nutritional intake to age, Sex and body mass index in Japanese elderly patients with type 2 diabetes: The Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 29-40, 2012
- 23) Chiemi Kamada, Hidenori Yoshimura, Ryota Okumura, Keiko Takahashi, Satoshi Iimuro, Yasuo Ohashi, Atushi Araki, Hiroyuki Umegaki, Takashi Sakurai, Yukio Yoshimura, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group: Optimal energy distribution of carbohydrate intake for Japanese elderly patient with type 2 diabetes. The Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 41-49, 2012
- 24) Keiko Takahashi, Chiemi Kamada, Hidenori Yoshimura, Ryota Okumura, Satoshi Iimuro, Yasuo Ohashi, Atushi Araki, Hiroyuki Umegaki, Takashi Sakurai, Yukio Yoshimura, Hideki Ito, and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group: Effects of total and green vegetable intakes on glycated hemoglobin A1c and triglycerides in elderly patients with type 2 diabetes mellitus - Japanese Elderly Intervention Trial. *Geriatr Gerontol Int* 12 (Suppl. 1), 50-58, 2012

- 25) Satoshi Iimuro, Yukio Yoshimura, Hiroyuki Umegaki, Takashi Sakurai, Atsushi Araki, Yasuo Ohashi, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group. Dietary pattern and mortality in Japanese elderly patients with type 2 diabetes mellitus :Does vegetable- and fish-rich diet improve mortality?: An explanatory study. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 59-67, 2012
- 26) Katsuya Iijima, Satoshi Iimuro, Yasuo Ohashi, Takashi Sakurai, Hiroyuki Umegaki, Atsushi Araki, Yukio Yoshimura, Yasuyoshi Ouchi, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group : Lower physical activity, but not excessive calorie intake, is associated with metabolic syndrome in elderly with type 2 diabetes mellitus : The Japanese elderly diabetes intervention trial. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 68-76, 2012
- 27) Katsuya Iijima, Satoshi Iimuro, Tomohiro Shinozaki, Yasuo Ohashi, Takashi Sakurai, Hiroyuki Umegaki, Atsushi Araki, Yasuyoshi Ouchi, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Investigation Group : Lower physical activity is a strong predictor of cardiovascular events in elderly patients with type 2 diabetes mellitus beyond traditional risk factors: The Japanese elderly diabetes intervention trial. *Geriatr Gerontol Int* 12 (Suppl. 1), 77-87, 2012
- 28) Tomohiro Shinozaki, Yutaka Matsuyama, Satoshi Iimuro, Hiroyuki Umegaki, Takashi Sakurai, Atsushi Araki, Yasuo Ohashi, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Research Group : Effective prevention of cardiovascular disease and diabetes-related events with atorvastatin in Japanese elderly patients with type 2 diabetes mellitus: Adjusting for treatment changes using marginal structural proportional hazards model and a rank-preserving structural failure time model. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 88-102, 2012
- 29) Hiroyuki Umegaki, Satoshi Iimuro, Tomohiro Shinozaki, Atsushi Araki, Takashi Sakurai, Katsuya Iijima, Yasuo Ohashi, Hideki Ito³ and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group : Risk factors associated with cognitive decline in the elderly with type 2 diabetes; Baseline data analysis of Japanese elderly diabetes intervention trial. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 103-109, 2012
- 30) Hiroyuki Umegaki, Satoshi Iimuro, Tomohiro Shinozaki, Atsushi Araki, Takashi Sakurai, Katsuya Iijima, Yasuo Ohashi, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group : Risk factors associated with cognitive decline in the elderly with type 2 diabetes; Pooled logistic analysis of a 6-year observation in Japanese elderly diabetes intervention trial. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 110-116, 2012
- 31) Takashi Sakurai, Satoshi Iimuro, Kentaro Sakamaki, Hiroyuki Umegaki, Atsushi Araki, Yasuo Ohashi, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group : Risk factors for 6-year decline in physical disability and functional limitations among elderly people with type 2 diabetes in the Japanese elderly diabetes intervention trial. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 117-126, 2012
- 32) Shin-ichi Araki, Yoshihiko Nishio, Atsushi Araki, Hiroyuki Umegaki, Takashi Sakurai, Satoshi Iimuro, Yasuo Ohashi, Takashi Uzu, Hiroshi Maegawa, Atsunori Kashiwagi, Hideki Ito and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial

- Research Group : Factors associated with progression of diabetic nephropathy in Japanese elderly patients with type 2 diabetes :Sub-analysis of the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial. *Geriatr Gerontol Int* 12 (Suppl. 1), 127-133, 2012
- 33) Teiko Yamamoto, Satoshi Iimuro, Yasuo Ohashi, Hirohito Sone, Hidetoshi Yamashita, Hideki Ito and the Japanese Elderly Intervention Trial Research Group : Prevalence and risk factors for diabetic maculopathy and its relationship to diabetic retinopathy in elderly Japanese patients with type 2 diabetes mellitus. *Geriatr Gerontol Int Suppl. 1*, 134-140, 2012
- 34) Teiko Yamamoto, Satoshi Iimuro, Yasuo Ohashi, Hirohito Sone, Hideki Ito, Hidetoshi Yamashita and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Study Group : (Letter to the editor) Long-term risk factors for diabetic retinopathy and diabetic maculopathy in elderly Japanese patients with type 2 diabetes mellitus. *Geriatr Gerontol Int* 12(Suppl. 1), 141-144, 2012
- 35) Noriyuki Fuku, Seiji Mori, Haruka Murakami, Yuko Gando, Heying Zhou, Hideki Ito, Masashi Tanaka and Motohiko Miyachi : Association of 29C>T Polymorphism in the transforming growth factor- β 1 gene with lean body mass in community-dwelling Japanese population. *Geriatr Gerontol Int* 12:292-297, 2012
- 36) Shiro Tanaka, Sachiko Tanaka, Satoshi Iimuro, Hidetoshi Yamashita, Shigehiro Katayama, Yasuo Akanuma, Nobuhiro Yamada, Atsushi Araki, Hideki Ito, Hirohito Sone, Yasuo Ohashi, for the Japan Diabetes Complications Study Group and the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial Group: Predicting macro- and micro-vascular complications in type 2 diabetes: the Japan Diabetes Complications Study/the Japanese Elderly Diabetes Intervention Trial risk engine. *Diabetes Care*, (DOI 10.2337/dc12-098), *Diabetes Care* Publish Ahead of Print, published Online February 12, 2013
- 37) Yoshiaki Tamura, Yoshiyuki Kimbara, Shingo Funakoshi, Suguru Mabuchi, Remi Koderu, Ayako Yoshimoto, Yuko Chiba, Seiji Mori, Hideki Ito, Atsushi Araki : A case of insulin antibody-induced glucose instability in an elderly woman with type 2 diabetes on hemodialysis, successfully ameliorated with liraglutide, *Diabetol Int* published on line (DOI 10.1007/s 13340-012-0100-0), Nov. 28, 2012
- 38) Masanori Murakami, Naoko Une, Maiko Nishizawa, Sayako Suzuki, Hideki Ito, Toshiyuki Horiuchi : Incretin secretion stimulated by ursodeoxycholic acid in healthy subjects. *SpringerPlus* 2:20, 2013 (doi:10.1186/2193-1801-2-20)
- 39) Heying Zhou, Seiji Mori¹, Ikuyo Kou, Noriyuki Fuku, Makiko Naka Mieno, Tomio Arai, Motoji Sawabe, Masashi Tanaka, Shiro Ikegawa, and Hideki Ito : Association of genetic variations of genes encoding formiminotransferase N-terminal sub-domain containing gene (FONG) and thrombospondin, type 1, domain-containing 7A (THSD7A) with the prevalence of vertebral fracture in 2427 consecutive autopsy cases. *J Hum Gen* (in press)
- 40) 井藤英喜 : 超高齢社会における街づくり—大都市の場合 (東京都を中心に) 、
日老医誌 49:709-712, 2012
- 41) 井藤英喜 : J-EDITの目指したこと、日老医誌 50:49-52, 2013
- 42) Onuma H, Tabara Y, Kawamura R, Ohashi J, Nishida W, Takata Y, Ochi M, Nishimiya T, Kawamoto R, Kohara K, Miki T, Osawa H. Plasma resistin is associated with single nucleotide polymorphisms of a possible resistin receptor, the decorin

- gene, in the general Japanese population. *Diabetes* 2013;62:649-652.
- 43) Nakayama K, Ogawa A, Miyashita H, Tabara Y, Igase M, Kohara K, Miki T, Kagawa Y, Yanagisawa Y, Katashima M, Onda T, Okada K, Fukushima S, Iwamoto S. Positive natural selection of TRIB2, a novel gene that influences visceral fat accumulation, in East Asia. *Hum Genet* 2013;132:201-217.
- 44) Igase M, Kohara K, Igase K, Yamashita S, Fujisawa M, Katagi R, Miki T. Deep cerebral microbleeds are negatively associated with HDL-C in elderly first-time ischemic stroke patients. *J Neurol Sci* 2013;325:137-141.
- 45) Kohara K, Igase M, Tabara Y, Miki T. Atherosclerotic indices for the prediction of cognitive impairment in a middle-aged to elderly general population: shimanami health promoting program study. *J Am Geriatr Soc* 2012;60:1996-1997.
- 46) Kawamoto R, Kohara K, Kusunoki T, Tabara Y, Abe M, Miki T. Alanine aminotransferase/aspartate aminotransferase ratio is the best surrogate marker for insulin resistance in non-obese Japanese adults. *Cardiovasc Diabetol* 2012 Oct 1;11:117.
- 47) Uetani E, Tabara Y, Igase M, Guo H, Kido T, Ochi N, Takita R, Kohara K, Miki T. Postprandial hypertension, an overlooked risk marker for arteriosclerosis. *Atherosclerosis* 2012;224:500-505.
- 48) Igase M, Kohara K, Tabara Y, Nagai T, Ochi N, Kido T, Ochi M, Miki T. Low-dose rosuvastatin improves the functional and morphological markers of atherosclerosis in asymptomatic postmenopausal women with dyslipidemia. *Menopause* 2012;19:1294-1299
- 49) Kamogawa K, Kohara K, Tabara Y, Takita R, Miki T, Konno T, Hata S, Suzuki T. Potential utility of soluble p3-alcadein α plasma levels as a biomarker For sporadic Alzheimer's disease. *J Alzheimers Dis* 2012;31:421-428
- 50) Kohara K, Ochi M, Tabara Y, Nagai T, Igase M, Miki T. Arterial stiffness in sarcopenic visceral obesity in the elderly: J-SHIP study. *Int J Cardiol* 2012;158:146-148.
- 51) Kobayashi Y, Hirawa N, Tabara Y, Muraoka H, Fujita M, Miyazaki N, Fujiwara A, Ichikawa Y, Yamamoto Y, Ichihara N, Saka S, Wakui H, Yoshida S, Yatsu K, Toya Y, Yasuda G, Kohara K, Kita Y, Takei K, Goshima Y, Ishikawa Y, Ueshima H, Miki T, Umemura S. Mice lacking hypertension candidate gene ATP2B1 in vascular smooth muscle cells show significant blood pressure elevation. *Hypertension*. 2012;59:854-860
- 52) Kido M, Kohara K, Miyawaki S, Tabara Y, Igase M, Miki T. Perceived age of facial features is a significant diagnosis criterion for age-related carotid

- atherosclerosis in Japanese subjects: J-SHIP study. *Geriatr Gerontol Int* 2012;12:733-740
- 53) Okura M, Uza M, Izumi H, Ohno M, Arai H, Saeki K, Factors that affect the process of professional identity formation in public health nurses, *Open Journal of Nursing*, 3:8-15, 2013.
 - 54) Okura M, Noro C, Arai H, Development of a career-orientation scale for public health nurses, *Open Journal of Nursing*, 3:16-24, 2013.
 - 55) Sampaio RAC, Sampaio PYS, Yamada M, Ogita M, Matsudo SMM, Raso V, Tsuboyama T, and Arai H, Factors associated with falls in active older adults in Japan and Brazil, *J Clin Gerontol Geriatr*, in press
 - 56) Akishita M, Ishii S, Kojima T, Kozaki K, Kuzuya M, Arai H, Arai H, Eto M, Takahashi R, Endo H, Horie S, Ezawa K, Kawai S, Takehisa Y, Mikami H, Takegawa S, Morita A, Kamata M, Ouchi Y, Toba K, Priorities of healthcare outcomes for the elderly, *J Am Med Dir Assoc*, in press.
 - 57) Arai H, Kokubo Y, Watanabe M, Sawamura T, Ito Y, Minagawa A, Okamura T, Miyamoto Y, Small Dense Low-Density Lipoproteins Cholesterol can Predict Incident Cardiovascular Disease in an Urban Japanese Cohort: The Suita Study. *J Atheroscler Thromb*, 20:195-203, 2012.
 - 58) Sampaio R A C, Sampaio P Y S, Yamada M, Ogita M, and Arai H, Urban-rural differences in physical performance and health status in Japanese community-dwelling older women, *J Clin Gerontol Geriatr*, in press
 - 59) Tsuji Y, Watanabe T, Kudo M, Arai H, Strober W, Chiba T, Sensing of commensal organisms by the intracellular sensor NOD1 mediates experimental pancreatitis, *Immunity*, 37:326-38, 2012.
 - 60) Torikoshi K, Abe H, Matsubara T, Hirano T, Ohshima T, Murakami T, Araki M, Mima A, Iehara N, Fukatsu A, Kita T, Arai H, Doi T, Protein inhibitor of activated STAT, PIASy regulates α -smooth muscle actin expression by interacting with E12 in mesangial cells, *PLOS one*, 7:e41186, 2012.
 - 61) Harada-Shiba M, Arai H, Okamura T, Yokote K, Oikawa S, Nohara A, Okada T, Ohta T, Bujo H, Watanabe M, Wakatsuki A, Yamashita S, Multicenter Study to Determine the Diagnosis Criteria of Heterozygous Familial Hypercholesterolemia in Japan, *J Atheroscler Thromb*, 19:1019-26, 2012.
 - 62) Harada-Shiba M, Arai H, Oikawa S, Ohta T, Okada T, Okamura T, Nohara A, Bujo H, Yokote K, Wakatsuki A, Ishibashi S, Yamashita S, Guidelines for the Management of Familial Hypercholesterolemia, *J Atheroscler Thromb*, 19:1043-60, 2012.

- 63) Yamada M, Takechi H, Mori S, Aoyama T, Arai H, Global brain atrophy is associated with physical performance and the risk of falls in older adults with cognitive impairment, *Geriatr Gerontol Int*, in press.
- 64) Yamada M, Arai H, Sonoda T, and Aoyama T, Community-based exercise program is cost-effective by preventing care and disability in Japanese frail older adults, *J Am Med Dir Assoc*, 13:507-511, 2012.
- 65) Yokoyama S, Yamashita S, Ishibashi S, Sone H, Oikawa S, Shirai K, Ohta T, Bujo H, Kobayashi J, Arai H, Harada-Shiba M, Eto M, Hayashi T, Gotoda T, Suzuki H, Yamada N, Background to Discuss Guidelines for Control of Plasma HDL-Cholesterol in Japan, *J Atheroscler Thromb*, 19: 207-212, 2012.
- 66) Takechi H, Sugihara Y, Kokuryu A, Nishida M, Yamada H, Arai H, Hamakawa Y, Both conventional indices of cognitive function and frailty predict levels of care required in a long-term care insurance program for memory clinic patients in Japan. ,*Geriatr Gerontol Int*, 12:630-636, 2012.
- 67) Ogita M, Takechi H, Kokuryu A, Kondoh H, hamakawa Y, Arai H, Identifying cognitive dysfunction using the nurses' rapidly clinical judgment in elderly inpatients, *J Clin Gerontol Geriatr*, 3: 21-23, 2012.
- 68) Tamura Y, Murayama T, Minami M, Matsubara T, Yokode M, Arai H, Ezetimibe ameliorates early diabetic nephropathy in db/db mice., *J Atheroscler Thromb*, 19:608-618, 2012.
- 69) Ogita M, Utsunomiya H, Akishita M, Arai H, Indications and practice for tube feeding in Japanese geriatricians: Implications of multidisciplinary team approach.,*Geriatr Gerontol Int*, 12:643-51, 2012.
- 70) Yamada M, Aoyama T, Arai H, Nagai K, Tanaka B, Uemura K, Mori S, Ichihashi N, Complex obstacle negotiation exercise can prevent falls in community-dwelling elderly Japanese aged 75 years and older, *Geriatr Gerontol Int*, 12:461-7, 2012.
- 71) Yamada M, Uemura K, Mori S, Nagai K, Uehara T, Arai H, Aoyama T, Faster decline of physical performance in higher levels of baseline locomotive function, *Geriatr Gerontol Int*, 12:238-46, 2012.
- 72) Yamada M, Arai H, Nagai K, Tanaka B, Uehara T, Aoyama T, Development of a new index for fall risk assessment in older adults, *Int J Gerontol*, 6:160-162, 2012.
- 73) Arai H, Ouchi Y, Yokode M, Ito H, Uematsu H, Eto F, Oshima S, Ota K, Saito Y, Sasaki H, Tsubota K, Fukuyama H, Honda Y, Iguchi A, Toba K, Hosoi T, Kita T, Toward the realization of a better aged society: messages from gerontology

- and geriatrics, *Geriatr Gerontol Int*, 12:16-22, 2012.
- 74) Arai H, Ishibashi S, Bujo H, Hayashi T, Yokoyama S, Oikawa S, Kobayashi J, Shirai K, Ota T, Yamashita S, Gotoda T, Harada-Shiba M, Sone H, Eto M, Suzuki H, Yamada N, Management of type IIb dyslipidemia, *J Atheroscler Thromb*, 19:105-14, 2012.
- 75) Gotoda T, Shirai K, Ohta T, Kobayashi J, Yokoyama S, Oikawa S, Bujo H, Ishibashi S, Arai H, Yamashita S, Harada-Shiba M, Eto M, Hayashi T, Sone H, Suzuki H, Yamada N, Diagnosis and management of type I and type V hyperlipoproteinemia., *J Atheroscler Thromb*, 19:1-12, 2012.
- 76) Kanamori H, Nagai K, Matsubara T, Mima A, Yanagita M, Iehara N, Takechi H, Fujimaki K, Usami K, Fukatsu A, Kita T, Matsubayashi K, Arai H, Comparison of the psychosocial quality of life in hemodialysis patients between the elderly and non-elderly using a visual analogue scale: the importance of appetite and depressive mood, *Geriatr Gerontol Int*, 12:65-71, 2012.
- 77) Hibi S, Yamaguchi Y, Umeda-Kameyama Y, Yamamoto H, Iijima K, Momose T, Akishita M, Ouchi Y: The high frequency of periodic limb movements in patients with Lewy body dementia. *J Psychiatr Res* 46:1590-4, 2012
- 78) 鈴木基文, 藤村哲也, 福原浩, 榎本裕, 西松寛明, 久米春喜, 本間之夫, 井川靖彦, 湖山泰成, 井口靖浩. 高齢者排尿自立支援 (第一報). *日本老年泌尿器科学会誌* 25: 52, 2012.
- 79) Hirata M, Kugimiya F, Fukai A, Saito T, Yano F, Ikeda T, Mabuchi A, Sapkota BR, Akune T, Nishida N, Yoshimura N, Nakagawa T, Tokunaga K, Nakamura K, Chung U, Kawaguchi H: C/EBP β and RUNX2 cooperate to degrade cartilage with MMP-13 as the target and HIF-2 α as the inducer in chondrocytes. *Human Molecular Genetics* 21, 1111-1123, 2012
- 80) Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N: Incidence and risk factors for radiographic knee osteoarthritis and knee pain in Japanese men and women: a longitudinal population-based cohort study. *Arthritis Rheum* 64, 1447-1456, 2012
- 81) Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N: Incidence and risk factors for radiographic lumbar spondylosis and lower back pain in Japanese men and women: the ROAD study. *Osteoarthritis Cartilage* 20, 712-718, 2012
- 82) Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T: Accumulation of metabolic risk factors such as overweight, hypertension, dyslipidaemia, and impaired glucose tolerance raises the risk of occurrence

- and progression of knee osteoarthritis: A 3-year follow-up of the ROAD study. *Osteoarthritis Cartilage* 20, 1217-1226, 2012
- 83) Muraki S, Oka H, Akune T, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N: Physical performance, bone and joint diseases, and incidence of falls in Japanese men and women: A longitudinal cohort study. *Osteoporos Int*, 24, 459-466, 2013
- 84) Nagata K, Yoshimura N, Muraki S, Hashizume H, Ishimoto Y, Yamada H, Takiguchi N, Nakagawa Y, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M: Prevalence of cervical cord compression and its association with physical performance in a population-based cohort in Japan: the Wakayama Spine Study. *Spine* 37, 1892-1898, 2012
- 85) Ishimoto Y, Yoshimura N, Muraki S, Yamada H, Nagata K, Hashizume H, Takiguchi N, Minamide A, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T, Yoshida M: Prevalence of lumbar spinal stenosis and its association with physical performance in a population-based cohort in Japan: the Wakayama Spine Study. *Osteoarthritis Cartilage* 20, 1103-1108, 2012
- 86) Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Tanaka S, Akune T: Does mild cognitive impairment affect the occurrence of radiographic knee osteoarthritis? A 3-year follow-up in the ROAD study. *BMJ Open*, at: <http://bmjopen.bmj.com/cgi/content/full/bmjopen-2012-001520>
- 87) Muraki S, Akune T, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tanaka S, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Yoshimura N: Risk factors for falls in a longitudinal population-based cohort study of Japanese men and women: The ROAD Study. *Bone* 52, 516-523, 2013
- 88) Oka H, Akune T, Muraki S, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Yoshimura N: The mid-term efficacy of intra-articular hyaluronic acid injections on joint structure: A nested case-control study. *Mod Rheumatol*, in press
- 89) Muraki S, Akune T, Enyo Y, Yoshida M, Tanaka S, Kawaguchi H, Nakamura K, Oka H, Yoshimura N: Association of dietary intake with joint space narrowing and osteophytosis at the knee in Japanese men and women: the ROAD study. *Mod Rheumatol*, in press
- 90) Kozakai R, Ando F, Kim HY, Rantanen T, Shimokata H: Regular exercise history as a predictor of exercise in community-dwelling older Japanese people. *J Phys Fitness Sports Med* 1(1); 1-8, 2012.
- 91) Nishio N, Teranishi M, Uchida Y, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Sone M, Otake H, Kato K, Yoshida T, Tagaya M, Hibi T, Nakashima T: Contribution of Complement

- Factor H Y402H Polymorphism to Sudden Sensorineural Hearing Loss Risk and Possible Interaction with Diabetes. *Gene* 499, 226-230, 2012.
- 92) 松井康素、竹村真里枝、原田教、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高齢者の膝関節変形と膝伸展筋力との関連. *Osteoporosis Japan* (in press).
- 93) 安藤富士子、今井具子、加藤友紀、大塚礼、松井康素、竹村真里枝、下方浩史：血清カロテノイドと2年後の骨粗鬆症／骨量減少発症リスクに及ぼす影響. *日本未病システム学会雑誌* 18(2)：89-92, 2012.
- 94) 李成喆、幸篤武、森あさか、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：地域在住高齢者の身体活動と認知機能に関する縦断的研究. *日本未病システム学会雑誌* 18(3)；39-42, 2012.
- 95) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史：成人後期における日常生活活動能力と主観的幸福感の関連に認知機能が及ぼす影響. *日本未病システム学会雑誌* (1882)；68-71, 2012.
- 96) 加藤友紀、大塚礼、今井具子、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高年者の微量ミネラルおよびビオチンの摂取量. *日本栄養・食糧学会誌* 65：21-28, 2012.
- 97) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史：高年者の開放性が知能の経時変化に及ぼす影響：6年間の縦断的検討. *発達心理学研究* 23(3)；276-286, 2012.
- 98) Yuki A, Lee SC, Kim HY, Kozakai R, Ando F, Shimokata H: Relationship between physical activity and brain atrophy progression. *Med Sci Sport Exer* 44(12):2362-2368, 2012.
- 99) 内田育恵、杉浦彩子、中島務、安藤富士子、下方浩史：全国高齢難聴者数推計と10年後の年齢別難聴発症率－老化に関する長期縦断疫学研究 (NILS-LSA) より. *日老会誌* 49(2)：222-227, 2012.
- 100) 杉浦彩子、内田育恵、中島務、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：高齢者の耳垢の頻度と認知機能、聴力との関連. *日老会誌* 49(3)：325-329, 2012.
- 101) Matsui Y, Takemura M, Harada A, Ando F, Shimokata H: Divergent significance of bone mineral density changes in aging depending on sites and sex revealed through separate analyses of bone mineral content and area *J Osteoporos* 2012; 1-6, 2012.
- 102) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史：高齢者の抑うつはその後の知能低下を引き起こすか：8年間の縦断的検討. *老年社会科学* 34(3)、370-381、2012.
- 103) Lee SC, Yuki A, Nishita Y, Tange C, Kim HY, Kozakai R, Ando F, Shimokata H: The Relationship Between Light Intensity Physical Activity and Cognitive Function in a Community-Dwelling Elderly population - 8 year longitudinal

- study. J Am Geriat Soc (in press).
- 104) 安藤富士子、大塚礼、北村伊都子、甲田道子、下方浩史：「かくれメタボ」の日本人有所見者数の推計-無作為抽出地域住民コホート NLS-LSA から. 日本未病システム学会雑誌 (印刷中)
 - 105) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史：成人後期の主観的幸福感に対する配偶者の有無と対人関係の影響. 日本未病システム学会雑誌 (印刷中)
 - 106) 堀川千賀、大塚礼、加藤友紀、河島洋、柴田浩志、安藤富士子、下方浩史：トリグリセリド高値の者における血清脂肪酸の特徴 ～地域在住の中老年男女における検討～ 日本未病システム学会雑誌 (印刷中)
 - 107) Otsuka R, Kato Y, Imai T, Ando F, Shimokata H: Higher serum EPA or DHA, and lower ARA compositions with age independent of fatty acid intake in Japanese aged 40 to 79. Lipids (in press).
 - 108) Osuga Y, Yoshida M, Ando F, Shimokata H: Prevalence of lower urinary tract symptoms in middle-aged and elderly Japanese. Geriat Geront Int (in press).
 - 109) 下方浩史、安藤富士子：日常生活機能と骨格筋量、筋力との関連. サルコペニア-研究の現状と未来への展望. 日老会誌 49(2); 195-198, 2012.
 - 110) 下方浩史、安藤富士子：認知症予防：栄養・愛用品. 老年医学・高齢者医療の最先端. 医学のあゆみ 239(5); 400-405, 2011.
 - 111) 下方浩史、安藤富士子：認知症の実態と予防の重要性. 日本未病システム学会雑誌. 18(3): 79-83, 2012.
 - 112) 下方浩史、安藤富士子：疫学研究からのサルコペニアとそのリスク-特に栄養との関連. 日本老年医学会雑誌 49(6); 721-725, 2012.
 - 113) 下方浩史、安藤富士子：検査基準値の考え方-医学における正常と異常-. 日本老年医学会雑誌 (印刷中).
 - 114) 幸篤武、安藤富士子、下方浩史：サルコペニア、虚弱の疫学-日本人データから. Bone Joint Nerve (印刷中)
 - 115) Shimokata H, Ando F: Aging-related genotype. Anti-Aging Med 9(6); 185-191, 2012.
 - 116) 下方浩史、安藤富士子：健康長寿社会を築く長期縦断疫学研究. 日本未病システム学会雑誌 (印刷中).
 - 117) 大塚礼、下方浩史、安藤富士子：高齢者の栄養に関する疫学研究. Geriatric Medicine (印刷中).
 - 118) 加藤友紀、下方浩史、安藤富士子：高齢者のうつと栄養. Geriatric Medicine (印刷中).
 - 119) 下方浩史、安藤富士子：日常生活機能と骨格筋量、筋力との関連. 日本老年医学会

- 雑誌 49:195-198, 2012.
- 120) 下方浩史: Chapter 4. 栄養疫学. ウエルネス公衆栄養学第9版 (前大道教子、松原知子編)、医歯薬出版、東京、pp.103-124, 2012.
 - 121) 幸篤武、安藤富士子、下方浩史: わが国におけるサルコペニアの診断と実態—日本人における診断. サルコペニア—その成因と栄養・運動 (葛谷雅文、雨海照祥編)、医歯薬出版、東京 (印刷中)
 - 122) 加藤友紀、安藤富士子、下方浩史: サルコペニアの栄養ケア BCAA. サルコペニア—その成因と栄養・運動 (葛谷雅文、雨海照祥編)、医歯薬出版、東京 (印刷中)
 - 123) 幸篤武、安藤富士子、下方浩史: 罹患の実態について教えてください. サルコペニア Q&A—高齢者における筋量減少・筋力低下にどう対応するべきか? (関根里恵、小川純人編)、フジメディカル出版、東京 (印刷中)
 - 124) 安藤富士子、下方浩史: サルコペニアを起こす高齢者の特徴は? サルコペニア Q&A—高齢者における筋量減少・筋力低下にどう対応するべきか? (関根里恵、小川純人編)、フジメディカル出版、東京 (印刷中)
 - 125) Fukazawa R, Hanyu H, Sato T, Shimizu S, Koyama S, Kanetaka H, Sakurai H, Iwamoto T: Subgroups of Alzheimer's disease associated with diabetes mellitus based on brain imaging. *Dement Geriatr Cogn Disord* (in press).
 - 126) 羽生春夫: 糖尿病とADの関連—認知症専門医の立場から。 *Dementia Japan* 26:274-283, 2012.
 - 127) Onuma H, Tabara Y, Kawamura R, Ohashi J, Nishida W, Takata Y, Ochi M, Nishimiya T, Kawamoto R, Kohara K, Miki T, Osawa H. Plasma resistin is associated with single nucleotide polymorphisms of a possible resistin receptor, the decorin gene, in the general Japanese population. *Diabetes* 2013;62:649-652.
 - 128) Nakayama K, Ogawa A, Miyashita H, Tabara Y, Igase M, Kohara K, Miki T, Kagawa Y, Yanagisawa Y, Katashima M, Onda T, Okada K, Fukushima S, Iwamoto S. Positive natural selection of TRIB2, a novel gene that influences visceral fat accumulation, in East Asia. *Hum Genet* 2013;132:201-217.
 - 129) Igase M, Kohara K, Igase K, Yamashita S, Fujisawa M, Katagi R, Miki T, Deep cerebral microbleeds are negatively associated with HDL-C in elderly first-time ischemic stroke patients. *J Neurol Sci* 2013;325:137-141.
 - 130) Kohara K, Igase M, Tabara Y, Miki T, Atherosclerotic indices for the prediction of cognitive impairment in a middle-aged to elderly general population: shimanami health promoting program study. *J Am Geriatr Soc* 2012;60:1996-1999
 - 131) Kawamoto R, Kohara K, Kusunoki T, Tabara Y, Abe M, Miki T, Alanine aminotransferase/aspartate aminotransferase ratio is the best surrogate marker

- for insulin resistance in non-obese Japanese adults. *Cardiovasc Diabetol* 2012 Oct 1;11:117.
- 132) Uetani E, Tabara Y, Igase M, Guo H, Kido T, Ochi N, Takita R, Kohara K, Miki T, Postprandial hypertension, an overlooked risk marker for arteriosclerosis. *Atherosclerosis* 2012;224:500-505.
- 133) Igase M, Kohara K, Tabara Y, Nagai T, Ochi N, Kido T, Ochi M, Miki T, Low-dose rosuvastatin improves the functional and morphological markers of atherosclerosis in asymptomatic postmenopausal women with dyslipidemia. *Menopause* 2012;19:1294-1299.
- 134) Kamogawa K, Kohara K, Tabara Y, Takita R, Miki T, Konno T, Hata S, Suzuki T. Potential utility of soluble p3-alcadein α plasma levels as a biomarker for sporadic Alzheimer's disease. *J Alzheimers Dis* 2012;31:421-428.
- 135) Kohara K, Ochi M, Tabara Y, Nagai T, Igase M, Miki T, Arterial stiffness in sarcopenic visceral obesity in the elderly: J-SHIPP study. *Int J Cardiol* 2012;158:146-148.
- 136) Kobayashi Y, Hirawa N, Tabara Y, Muraoka H, Fujita M, Miyazaki N, Fujiwara A, Ichikawa Y, Yamamoto Y, Ichihara N, Saka S, Wakui H, Yoshida S, Yatsu K, Toya Y, Yasuda G, Kohara K, Kita Y, Takei K, Goshima Y, Ishikawa Y, Ueshima H, Miki T, Umemura S. Mice lacking hypertension candidate gene ATP2B1 in vascular smooth muscle cells show significant blood pressure elevation. *Hypertension*. 2012;59:854-860.
- 137) Kido M, Kohara K, Miyawaki S, Tabara Y, Igase M, Miki T, Perceived age of facial features is a significant diagnosis criterion for age-related carotid atherosclerosis in Japanese subjects: J-SHIPP study. *Geriatr Gerontol Int* 2012;12:733-740.
- 138) Yoshida D, Ninomiya T, Doi Y, Hata J, Fukuhara M, Ikeda F, Mukai N, Kiyohara Y: Prevalence and causes of functional disability in an elderly general population of Japanese: the Hisayama Study. *J Epidemiol* 22:222-229, 2012
- 139) Ozawa M, Ninomiya T, Ohara T, Hirakawa Y, Doi Y, Hata J, Uchida K, Shirota T, Kitazono T, Kiyohara Y: Self-reported dietary intake of potassium, calcium, and magnesium and risk of dementia in the Japanese: the hisayama study. *J Am Geriatr Soc* 60: 1515-1520, 2012
- 140) Ohara T, Ninomiya T, Hirakawa Y, Ashikawa K, Monji A, Kiyohara Y, Kanba S, Kubo M. Association study of susceptibility genes for late-onset Alzheimer's disease in the Japanese population. *Psychiatr Genet* 22: 290-293, 2012
- 141) Oura A, Mori M, Yasuda N, Miyano I, Izumi H, Washio M. What is a common factor in different areas?: The case of depression among caregivers of the frail elderly

- in Sapporo and Kochi, Japan. *Geriatr Gerontol Int.* 2012; 12: 230-237.
- 142) 早川岳人, 岡村智教. 高齢者における循環器疾患の疫学. *Geriatric Medicine*, Vol. 51:225-228. 2013.
- 143) Saito I, Kokubo Y, Kiyohara Y, Doi Y, Saitoh S, Ohnishi H, Miyamoto Y. Prospective Study on Waist Circumference and Risk of All-Cause and Cardiovascular Mortality -Pooled Analysis of Japanese Community-Based Studies-. *Circ J* 2012; advance publication.
- 144) Mitsumata K, Saitoh S, Ohnishi H, Akasaka H, Miura T. Effects of Parental Hypertension on Longitudinal Trends in Blood Pressure and Plasma Metabolic Profile Mixed-Effects Model Analysis. *Hypertension* 2012; 60: 1124-1130.
- 145) Furugen M, Saitoh S, Ohnishi H, Akasaka H, Mitsumata K, Chiba M, Furukawa T, Miyazaki Y, Shimamoto K, Miura T. Matsuda-DeFronzo insulin sensitivity index is a better predictor than HOMA-IR of hypertension in Japanese: the Tanno-Sobetsu study. *J Hum Hypertens* 2012; 26: 325-33.

2. 学会発表

- 1) 24年6月29日、日本老年医学会学術集会（東京）にてシンポジウムを開催し研究成果の発表をおこなった。

シンポジウム4 生活自立を指標とした生活習慣病の検査基準値

（6月29日午前）（高齢者EBM委員会企画シンポジウム）

司会 大内尉義（東京大学加齢医学）

井藤英喜（東京都健康長寿医療センター）

基調講演「検査基準値の考え方—医学における正常と異常—」

下方浩史（国立長寿医療研究センター研究所予防開発部）

生活自立からみた生活習慣病の基準値

(1) 高血圧 大石 充（大阪大学老年・腎臓内科学）

(2) 脂質異常症 江頭正人（東京大学大学院医学研究科）

(3) 糖尿病 荒木 厚

（東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科）

(4) メタボリックシンドローム 櫻井 孝

（国立長寿医療研究センター代謝機能診療科）

(5) 低栄養・高栄養 葛谷雅文（名古屋大学老年内科）

(6) ロコモティブシンドローム 川口 浩（東京大学感覚・運動機能医学）

- 2) Atsuya Shimizu, Motohiro Miyagi, Kenichiro Nomoto, Manabu kokubo, Yasuya Inden, Masahiro Akishita, Kenji Toba, and Toyoaki Murohara : Impaired

- autoregulation of cerebral blood flow in patients with low-normal cardiac output: American Heart Association Scientific Sessions 2012 (Los Angeles; 2012. 11. 7)
- 3) Kenichiro Nomoto, Atsuya Shimizu, Toyoaki Murohara : ARBs inhibit de novo onset of malignant tumors, and Candesartan has a superior inhibitory effect compared with the others : American Heart Association Scientific Sessions 2012 (Los Angeles; 2012. 11. 4)
 - 4) Kenichiro Nomoto, Atsuya Shimizu, Toyoaki Murohara : Angiotensin Receptor blockers inhibit the onset of denovo malignant tumors : 24th Scientific Meeting of International Society of Hypertension (Sydney; 2012. 10. 3)
 - 5) 清水 敦哉, 新畑 豊, 宮城 元博, 野本 憲一郎, 櫻井 孝, 服部 英幸、鳥羽 研二 : 慢性的な心機能低下により全脳血流は低下する ; 心 - 脳連関に関する検討 : 第 54 回日本老年学会学術集会 (東京; 2012. 6. 28)
 - 6) 宮城 元博, 野本 憲一郎, 清水 敦哉, 鳥羽 研二 : 後期高齢者の冠動脈硬化の特性の解明 ; 血管内超音波を用いて : 第 54 回日本老年学会学術集会 (東京; 2012. 6. 28)
 - 7) Fukuoka H, Kawasaki S, Yokoi N, Kinoshita S. Three-dimensional Culture Of N-cadherin-expressing Conjunctival Epithelial Cells 2012 Annual Meeting of the ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology), Fort Lauderdale, Florida, U. S. A. , 2012. 5. 9
 - 8) Komuro A, Yokoi N, Fukuoka H, Kinoshita S. Evaluation Of Galectin-3 Expression In Rose Bengal-stained Conjunctival Epithelium 2012 Annual Meeting of the ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology), Fort Lauderdale, Florida, U. S. A. , 2012. 5. 9
 - 9) Fukuoka H, Kawasaki S, Yokoi N, Kinoshita S. Three-dimensional Culture Of N-cadherin-expressing Conjunctival Epithelial Cells 2012 Biennial Meeting of the ISER (The International Society for Eye Research), Berlin, Germany, 2012. 7. 23
 - 10) Fukuoka H, Yamanaka Y, Kinoshita S. One plus power up procedure of toric IOL selection. 2012 XXX Congress of the ESCRS. (European Society of Cataract and Refractive Surgeons), Milano, Italy, 2012, 9, 8.
 - 11) 福岡秀記、山中行人、木下 茂 度数選択を工夫しトーリック眼内レンズを用いた水晶体再建術 第 27 回 JSCRS 学術総会 東京 2012. 6. 16
 - 12) 山中行人、福岡秀記、木下 茂 術中オートレフラクトメーターによるトーリック眼内レンズの乱視度数誤差測定 福岡 2013. 1. 26
 - 13) 福岡秀記、山中行人、木下 茂 トーリック眼内レンズの実際の軸と内部乱視軸の

- 相違に関する検討 福岡 2013. 1. 26
- 14) 福岡秀記 視力障害と転倒 高齢者の転倒予防ガイドライン 鳥羽健二監修 51-57
2013
 - 15) 上田幸典、横井則彦、杉本 学、福岡秀記、木下茂 涙道再閉塞部における病変組織の免疫組織学的検討 第1回日本涙道・涙液学会 横浜 2012. 7. 15
 - 16) 第113回日本耳鼻咽喉科学会総会 平成24年5月11日<高齢者における耳垢頻度と聴力への影響>
 - 17) 第54回日本老年医学会 平成24年6月28日<地域在住中高齢者の難聴と転倒、重心動揺との関連>
 - 18) 第22回日本耳科学会 平成24年10月4日<閾値決定に苦慮した高齢者に対するASSRの使用経験>
 - 19) 第56回日本聴覚医学会 平成24年10月11日<聴性定常反応を用いた他覚的聴力検査機器の認知症患者への使用経験>
 - 20) 第60回職業・災害医学会 平成24年12月2日 <突発性難聴と遺伝子多型>
(シンポジウム「ストレスと耳鼻咽喉科疾患」招待シンポジスト)
 - 21) メディカルトリビューン 2012年7月26日号 vol145 No30 p25 「75歳以上の約300万人が耳垢栓塞と推計」
 - 22) 日経メディカル 2012年7月号 No536 p24, 25 「高齢者の2割に「耳垢栓塞」
 - 23) Shiro Tanaka¹, Yukio Yoshimura², Ryo Kawasaki³, Chiemi Kamata², Sachiko Tanaka⁴, Chika Horikawa⁵, Yasuo Ohashi⁶, Atsushi Araki⁷, Hideki Ito⁷, Yasuo Akanuma⁸, Nobuhiro Yamada⁵, Hidetoshi Yamashita³, Hirohito Sone⁵ for the Japan Diabetes Complications Study Group. Fruit Intake and Incident Retinopathy in Japanese Patients with Type 2 Diabetes. Nutritional Analysis in the Japan Diabetes Complications Study (JDACS) ADA, 2012. 6. 11
 - 24) Tomohiro Shinozaki, Yutaka Matsuyama, Satoshi Iimuro, Yasuo Ohashi, and Hideki Ito: Estimation of controlled direct effects for dynamic treatment regimes, Joint Statistics Meetings, San Diego, July 28-August 2, 2012
 - 25) Tomohiro Shinozaki, Yutaka Matsuyama¹, Satoshi Iimuro, Yasuo Ohashi, and Hideki Ito: ESTIMATING CAUSAL EFFECTS OF ATORVASTATIN IN ELDERLY DIABETICS, INTERNATIONAL BIOMETRIC SOCIETY, KOBE, AUGUST 30, 2012
 - 26) 田村嘉章、金原嘉之、吉本彩子、長沼 亨、安永正史、千葉優子、森聖二郎、藤原佳典、前場良太、井藤英喜、荒木厚: 高齢者糖尿病患者における血中プラスマローゲンと認知機能低下との関連、第55回日本糖尿病学会年次学術集会、横浜、2012. 5. 17-19
 - 27) 吉本彩子、千葉優子、金原嘉之、田村嘉章、森聖二郎、井藤英喜、荒木厚: 高齢者糖尿病患者のシスタチンC高値は認知機能低下と独立に関連する、第55回日本糖尿病学会年次学術集会、横浜、2012. 5. 17-19

- 28) 金原嘉之、荒木 厚、吉本彩子、田村嘉章、千葉優子、森聖二郎、井藤英喜:高齢者糖尿病患者におけるシスタチンCと動脈硬化の危険因子および頸動脈内膜・中膜複合体厚との関連について、第55回日本糖尿病学会年次学術集会、横浜、2012.5.17-19
- 29) 櫻井 孝、飯室 聡、荒木 厚、梅垣宏行、大橋靖雄、井藤英喜:高齢者糖尿病におけるADL低下の予測因子(J-EDIT)、第55回日本糖尿病学会年次学術集会、横浜、2012.5.17-19
- 30) 林 登志雄、川嶋成乃亮、井藤英喜、荒木 厚、曾根博仁、渡邊裕司、大類 孝、横手幸太郎、竹本 稔、服部良之、伊奈孝太郎、野村秀樹、糖尿病罹患における心血管リスクの年代別、性別検討成績:HDL-CとLDL-C/HDL-C比の意義について、第55回日本糖尿病学会年次学術集会、横浜、2012.5.17-19
- 31) 井藤英喜:シンポジウム「高齢者糖尿病の管理—J-EDITから得られたもの—」、J-EDITの目指したこと、第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6.28-30
- 32) 井藤英喜:公開シンポジウム「超高齢社会における街(都市)づくり」、超高齢社会における街(都市)づくり—大都市の場合—、第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6.28-30
- 33) 田村嘉章、千葉優子、吉本彩子、金原嘉之、安永正史、森聖二郎、藤原佳典、井藤英喜、荒木厚:高齢者糖尿病の認知機能と血中プラスマローゲンとの関連、第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6.28-30
- 34) 千葉優子、吉本彩子、金原嘉之、田村嘉章、森聖二郎、井藤英喜、荒木 厚:高齢者糖尿病患者のグリコアルブミングリコヘモグロビンの解離要因、第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6.28-30
- 35) 金原嘉之、荒木 厚、吉本彩子、田村嘉章、千葉優子、森聖二郎、井藤英喜:高齢者糖尿病患者のシスタチンCと動脈硬化の危険因子の関連、および頸動脈内膜・中膜複合体厚(IMT)との関連について、第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6.28-30
- 36) 森聖二郎、周 赫英、沢辺元司、新井富生、金原嘉之、田村嘉章、千葉優子、荒木 厚、井藤英喜、新規骨粗鬆症関連遺伝子FONGの同定と脊椎骨折生涯罹患率に及ぼす影響、第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6.28-30
- 37) 本間尚子、森聖二郎、周 赫英、田久保海誉、櫻井うらら、新井富生、沢辺元司、井藤英喜:大腿骨骨折とestrogen receptor- β 遺伝子cytosine-adenine repeat多型との関連、第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6.28-30
- 38) 周 赫英、森聖二郎、金原嘉之、田村嘉章、千葉優子、荒木 厚、井藤英喜:TGF- β 1遺伝子コドン10の一塩基多型と四肢骨格筋量との関連性について、第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6.28-30
- 39) 小寺玲美、千葉優子、馬淵 卓、吉本彩子、金原嘉之、田村嘉章、森 聖二郎、井藤英喜、荒木 厚 : 倦怠感を契機に発見された慢性甲状腺炎を合併した高齢リンパ

- 球性下垂体前葉炎の1例、第56回日本老年医学会関東甲信越地方会、東京、2012. 9. 24
- 40) 馬淵 卓、田村嘉章、横山幸太、小寺玲美、吉本彩子、金原嘉之、千葉優子、森聖二郎、井藤 英喜、荒木 厚：持続性血糖測定 (CGM) が診断補助および治療効果判定に有効であった反応性低血糖の一例、第56回日本老年医学会関東甲信越地方会、東京、2012. 9. 24
- 41) Hideki Ito: History of Tokyo Metropolitan geriatric hospital and institute of gerontology, and its importance for the development of geriatric medicine and gerontology in Japan, International symposium for the development of public medicine, Seoul, 2012. 10. 10
- 42) 井藤英喜：特別講演「生活習慣病と認知症」、東京内科医会市民セミナー2012、東京、2012. 10. 14
- 43) 井藤英喜：基調講演「健康長寿を目指して—糖尿病とのつきあい方」、第48回糖尿病週間講演会—歩進んだ療養生活を目指して」、東京、2012. 11. 10
- 44) 井藤英喜：特別講演「J-EDIT からみた高齢者の糖尿病治療」、第4回大分県北部糖尿病セミナー、大分（中津）、2012. 11. 13
- 45) 井藤英喜：特別講演「高齢者の糖尿病の管理：J-EDIT の結果から考える」、お茶の水セミナー、東京(上野)、2012. 11. 19
- 46) Hideki Ito : Special Lecture “Diabetes Mellitus and Frailty : Results from the J-EDIT Study” . Symposium on Healthy Ageing in Taiwan: A combined Conference of NHRI and TAGG, The 7th Annual Meeting on Preventive Medicine and Health Services Research, Determinants, Care, Promotion and Policy for Healthy Ageing, Taipei, Nov. 24 2012
- 47) 井藤英喜：生活習慣病と認知症、第17回お茶の水糖尿病研究会、東京(明治記念館)、2012. 12. 6
- 48) 井藤英喜：糖尿病をどのように管理すれば認知症を予防出来るのか？糖尿病教育研究会平成24年度第2回公開講座、高岡、2012. 12. 14
- 49) 井藤英喜：健康長寿の秘訣、東京都看護協会平成24年度医療講座—健康長寿、東京、2012. 12. 15
- 50) 井藤英喜：生活習慣病、健康長寿からみたTOBIRAへの期待、TOBIRA第2回研究交流フォーラム、東京、2013. 2. 5
- 51) 井藤英喜：高齢者の糖尿病—健康長寿を目指した治療・療養指導のあり方—、第47回糖尿病学の進歩、四日市（三重）、2013. 2. 15-16
- 52) 荒井秀典（シンポジウム）：我が国における脂質異常症遺伝子変異データベースの構築（明日へのシンポジウム2 脂質異常症と遺伝子の変異）。第44回日本動脈硬化学会総会・学術集会、福岡、2012. 7. 19-20.

- 53) 荒井秀典 : Prevalence of isolated low HDL cholesterolemia in Japanese.
第 44 回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 福岡, 2012. 7. 19-20.
- 54) 荒井秀典, 山本章, 松澤佑次, 齋藤康, 山田信博, 及川眞一, 馬淵宏, 寺本民雄, 佐々木淳, 中谷矩章, 板倉弘重, 石川雄一, 大内尉義, 堀部博, 北徹 (教育企画) : 高齢者の診かた. 第 54 回日本老年医学会学術集会, 東京, 2012. 6. 28-30.
- 55) 荒井秀典 (ワークショップ) : 老年医学教育のあり方を考える-学部教育から専門教育まで-. 第 54 回日本老年医学会学術集会, 東京, 2012. 6. 28-30.
- 56) 荒井秀典 (シンポジウム) : 日本老年医学会はハンドブックをどう活用するか : 学究的立場から (「健康長寿診療ハンドブック」は健康長寿に貢献できるか?) 第 54 回日本老年医学会学術集会, 東京, 2012. 6. 28-30.
- 57) 小島太郎, 秋下雅弘, 荒井秀典, 神崎恒一, 葛谷雅文, 江頭正人, 荒井啓行, 高橋龍太郎, 江澤和彦, 鳥羽研二 : 高齢者医療の優先順位に関する意識調査 (続報), 第 54 回日本老年医学会学術集会. 第 54 回日本老年医学会学術集会, 東京, 2012. 6. 28-30.
- 58) 丸山宗一郎, 井上大輔, 地家淳史, 山岡彩加, 山田実, 荒井秀典, 青山朋樹 : 高齢者における熱中症の認知度の実態調査. 第 54 回日本老年医学会学術集会, 東京, 2012. 6. 28-30.
- 59) 山田実, 青山朋樹, 荒井秀典, 介護予防事業の効果検証-新規介護認定者数と費用対効果の側面から-. 第 54 回日本老年医学会学術集会, 東京, 2012. 6. 28-30.
- 60) 元開早絵, 川瀬順子, 田村文誉, 須田牧夫, 羽村 章, 菊谷 武 : 先行期の食物認知が脳に活性を与える影響, 第 29 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 33(3) : 558, 2012.
- 61) Genkai S, Tamura F, Kikutani T, Kawase J, Hamura A, Yaegaki K: Effects of Cognition During Anticipatory Stage on Brain Activation, 60th Annual Meeting of the Japanese Association for Dental Research, Program and abstracts of papers : 73, 2012
- 62) 鈴木基文, 藤村哲也, 福原浩, 榎本裕, 西松寛明, 久米春喜, 本間之夫, 井川靖彦, 湖山泰成, 井口靖浩. 高齢者排尿自立支援 (第一報). 第 25 回日本老年泌尿器科学会 (徳島市), 平成 24 年 6 月 1 日
- 63) Motofumi Suzuki, Tetsuya Fujimura, Hiroshi Fukuhara, Takashi Naruse, Tohru Nakagawa, Yutaka Enomoto, Hiroaki Nishimatsu, Haruki Kume, Yasuhiko Igawa, Yasunari Koyama, Yasuhiro Iguchi, Toyokazu Saito, and Yukio Homma. Risk factors of urinary incontinence in nursing home residents in Japan. International Continence Society 2013 in Beijing, 19th October, 2012.
- 64) 松井康素, 竹村真理枝, 原田敦, 安藤富士子, 下方浩史 : ロコモティブシンドロームのチェック項目の妥当性の検討~ロコモチェックの有無による各種運動能力の比較. 日本整形外科学会, 2012 年 5 月 9 日、京都

- 65) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、坪井さとみ、福川康之、安藤富士子、下方浩史：高教育歴は高齢者の知能の維持に役立つかー10年間の縦断的検討ー. 日本老年社会科学会第54回大会、2012年6月9日、佐久
- 66) 下方浩史：老化に影響する遺伝子多型. シンポジウム「論より証拠ー疫学から見た健康長寿のエビデンス」. 第12回日本抗加齢医学会総会、2012年6月24日、横浜.
- 67) 下方浩史：疫学研究からのサルコペニアとそのリスクー特に栄養との関連. 疫学研究からのサルコペニアとそのリスクー特に栄養との関連. シンポジウム「高齢者の「サルコペニア」ならびに「虚弱」とその対策」. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月26日、東京.
- 68) 下方浩史：検査基準値の考え方ー医学における正常と異常ーシンポジウム「生活自立を指標とした生活習慣病の検査基準値」. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月27日、東京.
- 69) 杉浦彩子、内田育恵、中島務、新野直明、李成喆、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高齢者の難聴と転倒、重心動揺との関連. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月27日、東京.
- 70) 内田育恵、杉浦彩子、中島務、安藤富士子、下方浩史：肥満の有無に着目した10年後の難聴発症リスク要因の検討ー「老化に関する長期縦断疫学研究(NILS-LSA)」より. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月27日、東京.
- 71) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、安藤富士子、小坂井留美、下方浩史：ロコモティブシンドローム(ロコモ)とサルコペニアの関連. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月27日、東京.
- 72) 大塚礼、加藤友紀、西田裕紀子、丹下智香子、今井具子、安藤富士子、下方浩史：地域在住高齢男女におけるn-3系およびn-6系多価不飽和脂肪酸摂取量と認知機能との関連. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月27日、東京.
- 73) 加藤友紀、大塚礼、西田裕紀子、丹下智香子、今井具子、安藤富士子、下方浩史：中高年者の抑うつに及ぼすアミノ酸摂取量の影響ー地域住民における縦断的解析ー. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月27日、東京.
- 74) 安藤富士子、大塚礼、加藤友紀、丹下智香子、西田裕紀子、下方浩史：中高年女性の貧血の危険因子ー8年間の縦断データの解析ー. 第54回日本老年医学会学術総会、2012年6月26日、東京.
- 75) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、安藤富士子、李成喆、下方浩史：地域在住中高齢者の膝関節痛と膝伸展筋力の関連. 第4回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会総会、2012年7月19日、宜野湾.
- 76) 下方浩史：中高年者の栄養と運動ー長期縦断疫学研究から. シンポジウム「成人向け保健指導とヘルスプロモーション」. 第60回日本教育医学会記念大会、2012年8月26日、筑波.

- 77) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、坪井さとみ、福川康之、安藤富士子、下方浩史：成人後期の主観的幸福感に対する日常生活活動能力および個人背景要因の影響。日本心理学会第76回大会 川崎、2012年9月12日。
- 78) 大塚礼、加藤友紀、今井具子、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高年男女における年齢群別のDHAとEPA摂取量の推移(10年間)。第59回日本栄養改善学会、名古屋、2012年9月14日
- 79) 幸篤武、李成喆、小坂井留美、金興烈、安藤富士子、下方浩史：中高年男性における余暇身体活動強度と血清遊離テストステロン濃度の関連。第67回日本体力医学会大会、岐阜、2012年9月15日。
- 80) 富田真紀子、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：中高年者のワーク・ファミリー・コンフリクトとファシリテーション。日本心理学会第76回大会、川崎、2012年9月13日。
- 81) 加藤友紀、大塚礼、今井具子、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高年者のアミノ酸摂取量に関する疫学研究。
第59回日本栄養改善学会、名古屋、2012年9月14日。
- 82) 西田裕紀子、丹下智香子、富田真紀子、坪井さとみ、福川康之、安藤富士子、下方浩史：高齢者における知能と抑うつとの相互関係—交差遅延効果モデルの検討—。
日本心理学会第76回大会、川崎、2012年9月11日。
- 83) 李成喆、幸篤武、金興烈、小坂井留美、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：地域在住中高齢者の体力が認知機能に及ぼす影響に関する縦断的研究、
第67回日本体力医学会大会、岐阜、2012年9月14日。
- 84) 金興烈、李成喆、幸篤武、小坂井留美、安藤富士子、下方浩史：中高齢者の歩幅と歩調に影響を与える関連要因。
第67回日本体力医学会大会、岐阜、2012年9月15日。
- 85) 小坂井留美、安藤富士子、金興烈、李成喆、幸篤武、下方浩史
運動経験のない中高年者における運動習慣開始の要因。
第67回日本体力医学会大会、岐阜、2012年9月14日。
- 86) 松井康素、竹村真里枝、原田敦、安藤富士子、下方浩史：ロコモティブシンドロームチェック項目とSF36身体機能との関連。
第14回日本骨粗鬆症学会、新潟、2012年9月29日
- 87) 下方浩史、安藤富士子：かくれ肥満は生活習慣病のリスクとなるか—8万人での10年間の大規模縦断研究。第33回日本肥満学会、京都、2012年10月12日。
- 88) 下方浩史、健康長寿社会を築く長期縦断疫学研究、特別講演、
第19回日本未病システム学会総会、金沢、2012年10月27日。
- 89) 安藤富士子、大塚礼、北村伊都子、甲田道子、下方浩史：「かくれメタボ」の日本人有所見者数の推計—無作為抽出地域住民コホートNILS-LSAから。第33回日本肥

満学会、京都、2012年10月11日。

- 90) 丹下智香子、西田裕紀子、富田真紀子、安藤富士子、下方浩史：成人後期の主観的幸福感に対する配偶者の有無と対人関係の影響。第19回日本未病システム学会総会、金沢、2012年10月27日。
- 91) 堀川千賀、大塚礼、加藤友紀、河島洋、柴田浩志、安藤富士子、下方浩史：トリグリセリド高値の者における血清脂肪酸の特徴～地域在住の中高年男女における検討～ 第19回日本未病システム学会総会、金沢、2012年10月28日。
- 92) 羽生春夫、久米一誠、佐藤友彦、清水聰一郎、平尾健太郎、金高秀和、櫻井博文、岩本俊彦：糖尿病性認知症の提唱。第31回日本認知症学会学術集会、2012。
- 93) Ochi M, Kohara K, Tabara Y, Takita R, Nagai T, Shinohara N, Okada Y, Ochi H, Igase M, Miki T, Thigh Muscle Mass Decline Was Associated Brain Small Vessel Diseases in Men; Possible Link between Sarcopenia and Dementia. 64th American Academy of Neurology Annual Meeting, April 21-28, New Orleans, USA.
- 94) Nagai T, Kohara K, Tabara Y, Okada Y, Ochi M, Kido T, Uetani E, Kido M, Igase M, Miki T, Epidemiological Studies Suggest the Link between Sleep Disorders and Nonspecific Headache Including Chronic Headache. 64th American Academy of Neurology Annual Meeting, April 21-28, New Orleans, USA.
- 95) 小澤未央、二宮利治、土井康文、内田和宏、城田知子、福原正代、清原 裕：地域一般住民における食事パターンと認知症発症との関係：久山町研究<ポスター>。第22回日本疫学会学術総会、東京、2012.1
- 96) 清原 裕：脳卒中発症予防のための risk 管理～best medical treatment を目指して～<シンポジウム>。第37回日本脳卒中学会総会、福岡市、2012.4
- 97) Ninomiya T : Diabetes and dementia<lecture>. Frontiers in Diabetes 2012 a steno symposium, Copenhagen, Denmark, 2012.5
- 98) 二宮利治、小原知之、福原正代、神庭重信、北園孝成、清原 裕：地域高齢者が生涯に認知症を発症する確率の検討：久山町研究。第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6
- 99) 小澤未央、小原知之、二宮利治、内田和宏、福原正代、清原 裕：地域住民における乳・乳製品の摂取量と認知症発症との関連：久山町研究。第54回日本老年医学会学術集会・総会、東京、2012.6
- 100) 清原 裕：地域住民の動脈硬化危険因子<シンポジウム>生活習慣病の疫学研究から動脈硬化を予防する。第44回日本動脈硬化学会総会・学術集会、福岡市、2012.7
- 101) 清原 裕：糖尿病と認知症：久山町研究<シンポジウム>。第2回日本認知症予防学会学術集会、北九州市、2012.9
- 102) 小原知之、二宮利治、神庭重信、清原 裕：久山町研究-生活習慣病と認知症-<シンポジウム>わが国において継続中の認知症疫学研究。

- 第 31 回日本認知症学会学術集会、つくば市、2012. 10
- 103) 小原知之、清原 裕：糖尿病と脳血管性認知症：久山町研究<シンポジウム>糖尿病患者の中枢末梢神経障害：血管障害との関連。第 27 回日本糖尿病合併症学会、福岡市、2012. 11
- 104) 清原 裕：血管性認知症のオーバービュー；疫学的立場から<シンポジウム>血管性認知症の最先端。第 31 回日本認知症学会学術集会、つくば市、2012. 10
- 105) 清原 裕：肥満症と動脈硬化<教育講演>。第 33 回日本肥満学会、京都市、2012. 10
- 106) 吉田大悟、二宮利治、小原知之、平川洋一郎、永田雅治、福原正代、池田文恵、向井直子、志方健太郎、清原 裕：地域高齢者における日常生活動作（ADL）障害頻度とその原因疾患の時代的推移：久山町研究。
第 23 回日本疫学会学術総会、吹田市、2013. 1
- 107) 宮野伊知郎。機能的健康障害の関連因子
～血管壁硬化と身体機能を中心として～。第 54 回日本老年医学会学術集会
- 108) 早川岳人、村上義孝、三浦克之、大久保孝義、喜多義邦、高嶋直敬、藤吉朗、岡山明、岡村智教、上島弘嗣、NIPPON DATA80/90 研究グループ。NIPPON DATA を活用した健康寿命の算定（第二報）：喫煙・高血圧の健康寿命。第 71 回日本公衆衛生学会総会。第 59（10）：212. 2012.
- 109) 三俣兼人、赤坂 憲、大西浩文、斎藤重幸、三浦哲嗣。高血圧の家族歴が脂質値の経時的変化に及ぼす影響：混合効果モデルを用いた時系列解析。第 48 回日本循環器病予防学会、東京、2012. 6. 15-16.
- 110) 大西浩文、斎藤重幸、赤坂 憲、三俣兼人、古川哲章、森 満、三浦哲嗣。地域一般住民における血清 γ -glutamyltransferase の高血圧罹患リスクに関する検討—端野・壮瞥町研究より—。第 35 回日本高血圧学会、名古屋、2012. 9. 20-22.
- 111) 赤坂 憲、大西浩文、斎藤重幸、三俣兼人、三浦哲嗣。地域住民での尿酸値変化と腎機能変化の関連の検討：端野・壮瞥町研究。第 35 回日本高血圧学会、名古屋、2012. 9. 20-22.

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし